

## 令和4年度 姫路市内におけるアーモンドの収量調査について

姫路市を中心とした播州地区の喫茶店のモーニングに欠かせないメニューとしてアーモンドトーストがあり、アーモンドバターを使った地域独自の名物品としてもメディアに取り上げられ2015年頃から広く認知されるようになった。市民からもアーモンドを栽培してみたいとの相談は度々寄せられること、国産オーガニックアーモンドは栽培事例がないことから大変希少であること、開花期はサクラよりも大輪の花を着け花見観光が期待できること等の理由から、当センターでは2020年度から試験栽培を開始。市内気候における開花と収量の調査を開始した。

定植3年目10株の減農薬栽培によって、アーモンドバター約20個分、アーモンドトースト約200枚分を製造できる収量量となることが分かった。

成木化を進めつつ、低樹高・減農薬栽培と摘果による果実重のアップを図り、低労力で収量量を確保できる栽培方法の確立を目指す。

【アーモンドの花】 令和5年春季においては下記のように開花した。



品種名：ダベイ  
開花日：3月17日  
幅4.3cm程度、桃色



品種名：マルコナ  
開花日：3月22日  
幅3.8cm程度、薄桃色



※肥大果実（8月3日時点）  
ウメ等の他のバラ科の果実に似る。要アブラムシ防除。

## 【調査方法】

当センターにおいてダベイ2年生接ぎ木苗を定植後し、3年間育成した10株（樹高約2.2m、株幅約3.0m、開心自然形）を対象に各種調査を行った。（栽培方法）約50cmの高畝に定植し、毎年、堆肥施用と普通化成による追肥1回、春季・夏季にアブラムシ防除を1回ずつ行い、冬季に石灰硫黄合剤を散布。防草シート設置。（収穫）摘果無し。令和4年9月8日に収穫した果肉付きの果実を9月12日まで天日干しで乾燥させて果肉を除去し、令和5年1月27日に核割りを行い、核の中から可食部となる仁を取り出し、殻割り前の果実重と殻割後の果実重を測定。最も手間のかかる核割りの作業時間を測定し、作業負担も確認した。

## 【調査結果】

収穫品種	ダベイ
収穫本数	10 株
収穫個数	3262 個
殻付重合計	14.78 kg
果実重合計	2.09 kg
殻付重平均(核)	4.53 g
果実重平均(仁)	0.64 g
可食部	14.2 %
作業のべ人数	33 名
作業時間合計	8時41分47秒
平均作業時間	14分24秒

## ・収量量について

殻付きの果実(核)で14.78kg、殻割り作業後、破損のない果実を選別して果実重で2.09kgとなった。アーモンドバター製品1パックを200gとすればその約50%に果実を使用するため、製品が約20個できる。1枚のパンに約20g程度塗ると1パックで約10枚のアーモンドトーストを作成でき、10株で約200枚が調理可能。低樹高成木化、摘果、袋掛けを行えば、秀品の収量は増える見込みである。

## ・殻割りの作業時間について

作業員数のべ33名で行い、合計8時間41分程度となった。また、平均作業時間としては100個当たり14分24秒程度となり、現在の収量量であれば1名でも2～3日間作業を見込めば十分処理できる量だが、これ以上に栽培規模が大きくなり、短期間での出荷が求められる場合は複数名の作業員が必要である。

## 【アーモンドの果実と殻割り作業】



殻割り前の果実（核）  
の状態（ダベイ）



ハンマーとブロックを使った  
による殻割り作業の様子



殻割り後の果実（仁）  
の状態（ダベイ）

本調査・研究は、令和4年度 農業振興センター 農業振興事業（果樹特産化推進事業）により実施しました。

☆詳しい情報を知りたい、という方は下記までお気軽にご連絡ください。

姫路市役所 産業局 農林水産部 農業振興センター 〒679-2111 兵庫県姫路市山田町多田1174番地47  
電話番号：079-263-2220 ファックス：079-263-2708 E-mail：engei@himeji.city.lg.jp